

学校林の一日……(7月13日)



やっと目的地の学校林へ



◇午前8時30分……作業や宿泊に必要なものをバックにいつぱいつめて、2年A組の34人が校舎前に集合している。
 ◇8時50分……学校林での生活について説明や注意を聞いたあと、二台のマイクロバスに分乗してスタート。6人の先生が同行。
 ◇9時20分……国道32号線を北上して、根曳峠の「学校林入口」に着く。ここからは徒歩である。食料などの荷物を分担して山道を登っていく。
 ◇10時……やっと学校林に着く。林内の森は昭和二十八年に旧長岡村役場の建物を運んで父兄らによって建てられたもの。荷物を寮に置き、谷川の水で汗を流す。冷たくて気持ちがいい。
 ◇11時30分……荷物のかたづけや夕食の準備をすませ、持参した

『学校林』

鳶ヶ池中学校の夏の恒例行事——「学校林の下草刈り作業」が今年も七月八日から始まり、一年生と二年生、それに父兄らも参加して、さわやかな汗を流しました。
 同校の学校林は、土佐山田町滝本（根曳峠の西側）にあり、広さ約二十四畝。昭和十八年から先輩たちの手によって育てられていたもので、「先輩に続け」と在校生による下草刈りや植林などの作業が毎年続けられています。

昼食をとる。
 ◇午後1時……いよいよ作業だ。ケガをしては大変、カマの使い方の指導をうけて——さあヤルゾ。めったに使ったことのないカマ、初めはきこない手つきも次第に調子上がり、草に埋まった小さな「杉や松」が次々と顔を出す。
 ◇3時30分……雨がばらつきなじめ、予定の時間を切り上げ寮へ。飯ごう炊飯やフロたき。夕食のメニューはカレーライスにサラダ。
 ◇5時30分……盛りつけも完了。「いただきますー」自分たちの手で作った食事、味も格別だ。
 ◇6時20分……あとかたづけをすませると「フロの時間」。作業の疲れもとれる。「ああ、いい気持ち」。
 ◇7時30分……レクレーションがはじまる。歌やクイズ、それに先生が「オバケ」にふんして「キモだめし」。楽しいひととき。夜の学校林は笑い声でいっぱいです。
 ◇10時30分……今日の反省会や明日の作業などの説明を聞き、「学校林の一日が終わる」。消燈。「おやすみなさい」



初めて行なう「下草刈り作業」自然と力がいいる。

鳶ヶ池中学校

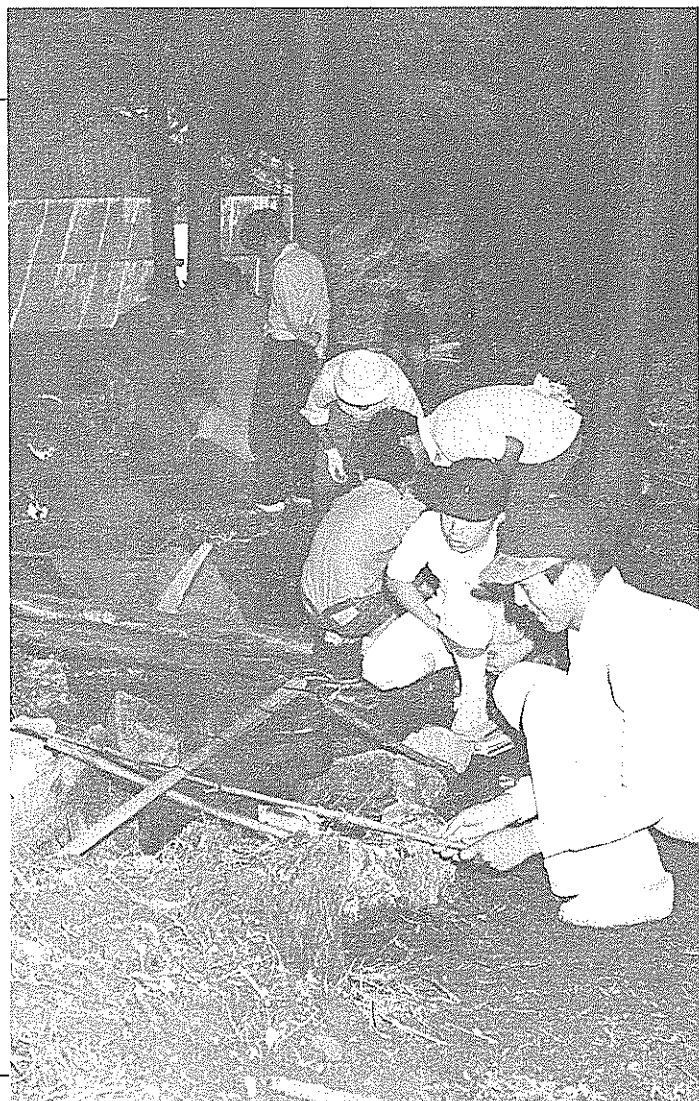
昭和三十一年には全日本学校植林コンクールで第一位の表彰をうけるなど、学校の「貴重な財産」である学校林——その目的は「作業を通じて資源の大切さを知り、労働の喜びを味わう。また林内の寮での宿泊を通じて集団生活の訓練をし、飯ごう炊さんやクレイシヨンにより仲間意識を養う」というもの。
 今年は、七月八日に一年生七十一人と父兄約五十人が日帰り、翌日の九日からは二年生百一人がクラスごと（三クラス）に分かれて一泊二日の日程で、それぞれ作業に行きましたので、「学校林の一日」を紹介します。



やはり包丁は女子が……



みんなで盛りつけ 腹の虫も「ゲー・ゲー」



夕食の準備「うまく炊けるかな」飯ごう炊さん!!

「いただきます〜」カレーライスにサラダの大盛り——腹いっぱい食べて……

